

いきいき男女共同参画

話そう、働こう、育もう。いっしょに。

6月23日から29日までの一週間は「男女共同参画週間」です。

今年度、内閣府が募集した全国から選ばれたキャッチフレーズは、「話そう、働こう、育てよう。いっしょに。」です。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社

「共同参画で四角じゃない丸い社会」

*自らの体験を、落語を通して楽しく語ります！



日時 6月26日(土) 午後1時30分から
会場 飯山市公民館
講師 落語家 笑福亭松枝さん
入場無料 託児あります (事前にご予約ください)

ひとりひとりが輝く、色彩あふれる世界へ 『日本女性会議 2010 きょうと』参加者募集!

「日本女性会議 2010 きょうと」開催概要

場所 京都市
月日 10月1日(金)～3日(日)

記念講演 自由で豊かなパートナーシップ
～ひとりひとりが輝く未来に向けて～
弁護士・女性と仕事の未来館長 渥美雅子さん
渥美講談塾塾長 渥美剛治さん

基調報告 男女共同参画社会実現への現状と課題
内閣府男女共同参画局長 岡島敦子さん

パネルディスカッション 異世代コミュニケーション
～未来へつなぐ男女共同参画～
コーディネーター 華頂短期大学教授 斧出節子さん
パネリスト 京都橋大学教授 田端泰子さん、パバ料理研究家 滝村雅晴さん、パナソニック電工㈱ダイバーシティ推進室 呉本紀子さん、京都市長 門川大作さん

分科会講師
元インドネシア共和国女性問題担当副大臣 シャムシア・アフマッドさん、ウイメンズクリニックかみむら院長 上村茂仁さん、スポーツコメンテーター 奥野史子さん、京都女子大学教授 表真美さん、立命館大学教授 津止正敏さん、環境教育コーディネーター 内田香奈さん、他

参加費用 交流会費 5,000円 他に宿泊費実費 (市のマイクロバスで行きます)

申し込み・お問い合わせは 7月1日(木)までに 男女共同参画係へ ☎62-3111(内線371)



第27回日本女性会議が京都市で開催されます。テーマは「ひとりひとりが輝く、色彩あふれる世界へ」。紫式部や清少納言をはじめとして、千年もの昔から歴史を彩ったすばらしい女性を数多く輩出してきた、悠久の都・京都。地元市民による実行委員会主催で運営され、

全国から3000人を超える男女が集う熱気あふれる大会で、パワーをもらうことができます。飯山市でも毎年参加しており、今年も参加される方を募集します。お申し込みは、男女共同参画係へ7月1日までに。初秋の京都へあなたもご一緒しませんか。

人権政策課男女共同参画係
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990 (内線371)

E-mail: jinken@city.iijama.nagano.jp

いいやま女性センター未来
飯山市大字飯山1431
電話・FAX：0269-62-0543

E-mail: center-mirai@city.iijama.nagano.jp

利用団体紹介

年齢を重ねても踊り続けられる幸せからだ全体で踊りの楽しさを味わう

「飯山フォークダンスサークル」

体を動かすのが好き
「体を動かすことが好きだから」「健康のために」「自分の楽しみで」。フォークダンスの公民館講座修了者が中心となり始まった『飯山フォークダンスサークル』(百田禮子代表)は、今年で発足11年目。始めたきっかけは会員それぞれ異なりますが、毎週火曜日、講師の門田美代子さんの指導の下、音楽に合わせて、フォークダンスで息の合った踊りの輪を形作っています。

踊るのが楽しくて

「皆さん、心から楽しんで体を動かしていますよ。この年齢になっても踊り続けられるのは幸せなことだと思います」と語る門田さん。同会が舞台発表会で披露した踊りを見て、興味を持ち入会した人からは「こんなに楽しいことがあるのか」と感嘆の声も聞かれます。

もともと、さまざまな国の土着の踊りが欧米で洗練され発展してきたフォークダンス。日本では「戦争で疲弊した日本人に再び活気を」との願いから広まりました。

人間の悲哀も感じながら

現在、曲目は世界に2万曲以上あるとのことですが、同会ではこのうち100曲程度を習得し、踊っています。「フォークダンスは、戦争と争いという人間の悲哀の歩みを感じさせる曲目が多いのです。そんな歴史も学び、感じながら踊っています」とのこと。

会員を増やしたい

現在会員は14人。フォークダンスでは最大16人が一緒に踊る曲目があります。あと何人か会員を募り、すべての曲目を踊れるようになるのが会としての目標です。

見学だけでも、曲に触れれば、青春時代に聴き覚えのある懐かしい曲調を思い出す人もいることでしょう。ここには、年齢を重ねても体全体で楽しさを味わういきいきとした女性の姿があります。見学をご希望の方は、女性センター未来(☎0543)まで。

「赤い靴を履きたい…」

現在フォークダンス界を支える年齢層は60～80代が中心。少女時代にあこがれた「赤い靴を履きたい」という願望を、今になって実現できる幸せを感じる人もいます。また、ヨーロッパ調のダンス服に身を包み、日常にはない新鮮な気持ちを感じられるのもフォークダンスの貴重な体験でしょう。門田さんは「自分の人生です。やりたいことをやらなきゃ。私にとっては、それがフォークダンス。死ぬまで踊り続けたいですね。」

女性のためのカウンセリングのご案内

こころの悩みを女性カウンセラーがお聞きします。ひとり悩まず、女性カウンセラーに相談してみませんか。詳細については、お電話でお問い合わせください。

▽あなたがいきいき生きるために。▽自分自身を愛するために。▽輝く自分になるために。

相談時間(要予約)
毎月第2・4金曜日
10時～15時50分
(おひとり50分間)

場所 男女共同参画センター「あいとびあ」(岡谷市長池権現町4-11-51 ☎0266-2218822)

育児・介護休業法に基づく

「紛争解決援助制度」のご案内

育児・介護休業法が改正され、紛争解決援助制度が始まっています。厚生労働省では、労働者と会社との間で育児・介護休業等の民事上のトラブルが生じた場合、解決に向けた援助を行っています。

援助の制度には、都道府県労働局長による援助と調停委員(弁護士や学識経験者等の専門家)による調停の2種類があります。

援助を申し出たことにより労働者を不利益に取り扱うことは、育児・介護休業法で禁止されています。また、関係当事者以外に援助や調停の内容は公にされませんので、プライバシーが保護されます。

紛争解決援助の対象

- ▽育児休業制度▽介護休業制度▽子の看護休暇制度▽時間外労働の制限▽深夜業の制限▽勤務時間の短縮等の措置
- ▽育児休業等を理由とする不利益取り扱い▽労働者の配置に関する配慮
- ※解雇その他不利益な取り扱いに関する紛争も対処になります。

制度の詳しい内容は、長野労働局雇用均等室(☎026-122710125)までご相談ください。



お揃いのダンス服で笑顔があふれる皆さん